文化なかの

公民館報
No.192
（通巻 No.724）

公民館講座 紹介

冬季に中央公民館で開催した講座についてご紹介します。

しまちゃんのおもしろ理科実験

◀ブタンガスの燃焼実験。爆発音に、子供たちから歓声が上がりました。

1月16日、子どもセンターの嶋田所長を講師に、理科実験講座を開催しました。音、静電気、気体などを使い、親子で一緒に楽しめる体験型の講座は、子供たちからも大好評でした。

アクセサリー講座

1月21日にはデコパージュ工房「メアリーアン」主宰の石黒直子さんを講師に迎えてのアクセサリー講座。参加者は思い思いに、ペンダント作りに挑戦しました。

◆人工宝石の「ビジュー」と固着剤「レジン」を使ってのアクセサリー作り。参加者は「世界に一つ」の手づくりの楽しさを体験しました。

ふるさとの歴史

栗林の村はどのように開発されたか（後編）

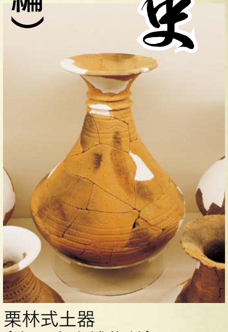
栗林遺跡は、今から二千年ほど前の弥生時代中期の大きなムラの跡として、長野県を代表する遺跡のひとつである。栗林では出土した土器や石器から水田稲作が行われ、安定した「村」が営まれていたことが特徴である。

また栗林で作られた土器は「栗林式土器」と命名され、千曲川上流域から松本平や諏訪湖周辺、さらに上伊那までに及ぶ文化圏を形成している。この土器はベンガラ（※）原石から加工用の台石と加工用の石斧を用いて「ベンガラ」を取り出し、一度素焼きした土器にベンガラ液をにじませ二度焼きして完成させた土器で、「赤い土器」と呼ばれている。

ここで注目すべき特徴は、台石と石斧は榎田遺跡で切り出し、未成品から磨き上げを行って完成品に仕上げるのが中俣遺跡と松原遺跡（遺跡はいずれも現長野市）であり、これらを使ってベンガラ加工や着色焼きをするのが、栗林遺跡であったことである。

これは町田勝則学芸員（県立歴史館考古資料課長）によって明らかにされたことで、製造工程における技術的・生産的分業であったのである。

なお、今後の課題としては、栗林式土器の社会における富の分配の原理が、社会の構成員や社会間においてどのように分配されたのか、この経済システムを考古学的に検証し、集落間の連絡と農業共同体の実態に迫りたいと町田氏は述べている。



栗林式土器
（中野市立博物館）

岩戸貞彦
県北信シニア大学郷土史講師
「高井」元常任委員
中央公民館ふるさと歴史探訪講座講師

※ベンガラ…土から取れる成分（酸化鉄赤）で紅殻、弁柄とも呼ばれる赤色顔料・研磨剤。

今月の伝言板

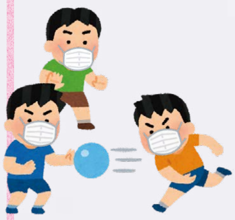
- 受講には申し込みが必要です。下記の連絡先までご連絡ください。
- ご来館の際はマスクを着用してください。

西部公民館

春休み子ども事業

図書室と多目的ホール（体育館）を開放します

期間　３月 22 日(月)～４月５日(月)
（期間中の平日のみ）
時間　午前９時～午後４時 30 分
内容　春休み中に西部公民館で勉強したり、本を読んだり、身体を動かしましょう。
対象　市内の小中学生



ふでペン　習字教室

期日　４月８日、15 日
５月６日、20 日
６月３日、17 日
７月１日、15 日
８月５日、19 日
（毎回木曜日・全 10 回）
時間　午後１時 30 分～３時
内容　筆ペンを使って綺麗な字を書きたい方！一緒に習ってみませんか。
定員　15 人

北部公民館

春休み子ども事業

図書室と講堂（体育館）を開放します

期間　３月 18 日(木)～４月５日(月)
（期間中の平日のみ）
時間　午前９時～午後４時 30 分
内容　図書室は自由に本が読めます。講堂では、卓球やバドミントンができます。
対象　市内の小中学生

春を告げる　二胡のしらべ

期日　３月 26 日(金)
時間　午後１時 30 分～３時
内容　心癒される二胡の演奏を楽しみましょう。出演は劉鉄鋼（りゅうてっこう）さん。
定員　25 人（市内在住・在勤）

書道展　作品募集

第 39 回中野市民書道展の作品を募集しています。

出品資格　市内在住・在勤・在学の方
申込期限　３月 22 日(月)
申込方法　中央公民館にある出品申込書
作品搬入　３月 30 日(火)午後２時までに中央公民館へ搬入してください。

■中央　☎（22）２６９１
■北部　☎（26）０６７７
■西部　☎（23）１０２４
■豊田　☎（38）２９２２

公民館ホームページ

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。